学校番号	210

令和８年度　情報科

教科	情報科	科目	(学)情報活用	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	全商ビジネス文書実務検定模擬試験問題集　１級　（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報技術を活用するための知識と技能を身につけましょう。
・上記の目標として、ビジネス文書実務検定１級の資格取得を奨励します。
・知識や技能だけではなく、社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解して活用することで、社会で即戦力として活躍できるような資質を身につけましょう。
・日常的な学習課題を題材として情報の収集・処理・発信などの実習を通して、情報を活用していく実践力をつけましょう。
・年間を通して、毎週タイピングのオンライン課題を出しますので、必ず提出しましょう。
・連続した実習を多く設定しているので、遅刻、欠席のないようにしましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解し、それらを活用するための知識と技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
・適切なビジネス文書を作成するための思考力、表現力を習得する。
・プレゼンテーションでは適切な内容を情報収集、発信できる判断力を、プログラミングでは論理的思考力を習得する。
【学びに向かう力、人間性等】
・情報の収集や発信などの実習を通して、情報社会に積極的かつ主体的に参加する態度を身につけ、情報社会で活躍できるような資質を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・情報と情報技術を目的に応じて適切に活用するための知識と技能、これらを活用して問題を発見、解決する方法についての知識と技能を身につけている ・情報社会の進展と影響や人との関わり、および情報に関する法規や制度、マナーの意義と個人が果たす役割や責任についての知識と、情報を伝達するコミュニケーション技能を身につけている	・問題の発見・解決に向けて情報技術を活用する力を養うとともに、その過程を振り返り考察、改善することで、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う ・情報に関する科学的な見方、考え方という観点から、さまざまな事象と複数の情報を結び付ける視点を持ち、新たな意味を見いだす力を養う	・情報を多角的、多面的に吟味し、その真偽、有効性、価値を見極め、自らの情報活用を振り返りながら、得た情報を活用して改善しようとする ・情報に関する法規や制度、および情報セキュリティ、情報モラルに対する責任について考えて行動し、情報社会に積極的かつ主体的に参画することでその発展に寄与しようとする態度を養う

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	ビジネス文書	○ビジネス文書実務検定１級 ・ページ設定 ・速度部門 ・文書部門 ・筆記部門	a:１級筆記問題レベルの知識を持ちビジネス文書の文書体裁について理解し、１級レベルの速度で文字を入力し適切なビジネス文書を作成することができる b:文字入力を迅速に行う方法と、資格取得の意義について考えることができる c:ビジネス文書について関心を持ち、ビジネス文書実務検定の資格取得をめざして取り組んでいる	実習 実技テスト プリント 定期考査	実習 実技テスト 定期考査	観察 課題提出 実習 実技テスト プリント
2学期	情報機器と技術の活用	○プレゼンテーション応用 ・プレゼンテーション手法 ・プレゼンテーションソフト ・音声生成ソフト ・自動再生 ・発表と改善	a:プレゼンテーションの応用、手法、ソフトの操作、自動再生に必要な手法を理解し、適切に操作することができる b:必要な情報を適切に収集し、聞き手のことを考えたプレゼンテーションを作成し、音声生成ソフトを活用、発表することができる c:プレゼンテーションに興味を持ち、前向きに発表を行い、積極的に改善をしている	実習 課題内容 レポート プリント 定期考査	実習 課題発表 定期考査	観察 課題提出 実習 課題発表 レポート プリント
	プログラミング	○プログラミング ・プログラミング言語 ・論理的思考力、AI、ビッグデータ、IoT	a:プログラミング言語の特徴、AI、ビッグデータ、IoTの役割を理解することができる b:論理的思考力を養い、想定通りかつ効率の良いプログラムを作成するために考察、修正することができる c:問題解決のためのプログラミング学習に積極的に取り組み、繰り返し粘り強くプログラムの改善に取り組んでいる	実習 課題内容 プリント 定期考査	実習 課題内容 定期考査	観察 実習 課題内容 プリント
3学期	プログラミング	○プログラミング ・配列とリスト ・関数	a:配列とリストの役割と関数の概念を理解し、プログラムの作成に活用することができる b:想定通りかつ効率の良いプログラムを作成するために考察、修正することができる c:問題解決のためのプログラミング学習に積極的に取り組み、繰り返し粘り強くプログラムの改善に取り組んでいる	実習 課題内容	実習 課題発表 レポート	観察 課題提出 実習 課題発表 レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度